

薬だつ知識

79

「慢性腎臓病」が増え続けていることをご存じでしょうか。腎臓は老廃物などを体外へ排出してくれる臓器で、慢性腎臓病とはその機能が低下している状態を指します。英語表記の頭文字を取って「CKD」とも呼ばれています。

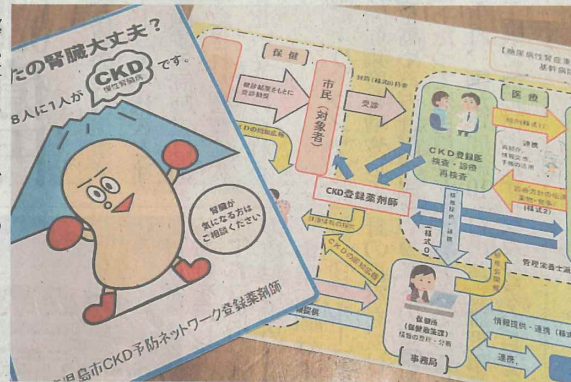
2005年の全国調査では「成人の8人に1人がCKDである」といわれており、現在はさらに増えていると推測されています。自覚症状はほとんどありませんが、放置していると人工透析が必要になってしまうと恐れもあり、早期発見が非常に重要です。

CKDになると、薬がうまく排出さ

慢性腎臓病(CKD)

定期健診で早期発見を

れず、体の中にとどまってしまいます。これは薬を必要以上に飲んでいるのと



医師や薬剤師が登録するCKD予防ネットワークが組織されている

令和6年6月4日(火)

79.慢性腎臓病(CKD)

同じ状況で、副作用による体調不良が出てしまうこともあります。腎臓の機能を低下してしまうような薬は、CKDの患者さんには使いたくても使えません。そのようなことにならないためにも、早め早めに腎機能をチェックしておくことをお勧めします。

腎臓は一度悪くなると回復しませんが、悪化を遅らせることはできます。CKDの主な原因は糖尿病や高血圧、加齢とされていますので、食生活の改善や運動療法などがその鍵になります。また脱水は腎臓の天敵であり、十分な水分摂取も欠かせません。

原因が何であれ早期発見のために、定期的な健康診断が有効です。一部の健診では腎機能の検査項目がないことがあるので、受付時に確認してください。

腎機能の相談に対応できる薬局も増えています。ぜひかかりつけの薬局・薬剤師に声を掛けてみてください。

(鹿児島県薬剤師会実務実習委員会
・鎌田貴志)